

## 平成 31 年度第 1 回地域学校協働本部協議会記録（概要）

1. 開催日時平成 31 年 6 月 18 日（火）午後 5 時 00 分～
2. 会場立川市立第六小学校 応接室
3. 参加者 柳原さん、宮嶋さん、林さん、人長さん、杜下さん、下尾さん、  
校長、副校長、櫻井主幹教諭

### 4. 内容

〈司会：副校長〉

（1）校長挨拶 地域学校協働本部について

（2）委員自己紹介

（3）部長及び副部長の選出

・部長・・・宮嶋さん

・副部長・・・人長さん

（4）学校より

- ①校長より  
・3年ほたる祭りは、昨年約 300 名参加。今年は、500 名ぐらい来るのではないかと見込んでいる。3年生・5年生が協力して、ほたるカードも作成している。  
・4年は、江戸東京野菜について勉強し、畑づくりをしている。  
・保護者の方から海の汚染についても話を伺っており、子どもたちがお話を伺う機会を考えていきたい。  
・これからの持続可能な社会の創り手を育てるために、社会の課題を視野に入れながら市民科の研究を進めている。  
・さんさんタイムでご協力いただいている保護者の丸付けも学習支援や人との関わりでよい取組と感じている。  
・いじめのない学級づくりの標語作りなども実施し、元気で思いやりのある児童の育成を行っている。
- ②櫻井より  
・2年生の町探検の取組では、保護者や地域の方々にたくさんのご協力をしていただいている。発表に向けて準備をしている。他学年も市民科の取組を進めている。
- ③副校長より  
・今後の活動では、ファーレ立川見学のお願いや下校指導のお願いをしたい。三中の訪問については詳細が分かり次第、お伝えする。以前は、三中への付き添いはなかったが、教員からお願いが出ている。

（5）意見交換

○基本的にお手紙で協力を募るのか？

- ・体力テストのお手紙は、PTA 副会長が作ってくださり、ミシンのお手紙は、藤井先生作成、ファーレは 5 年生、町探検は学年の先生から依頼があり、声を掛けた。
- ・お風呂に行きたいなど、活動が入ると、保護者に声が掛かる。
- ・全ての家庭に話がいかないのが、心配。
- ・学校メールを利用できないかという話が出ている。内容と協力のお願ひ、窓口や返信はここまでという連絡先も載せたい。
- ・今までは、保護者のネットワークの中で協力していた。メールで協力することができると、支援が広がる。夏休みの間でも登録できる方は、という内容で検討するのはどうか。
- ・募集を掛けてもらって、メーリングリストができて、連絡ができると思う。メールは返信ができない。システム上の問題があり、昨年はできなかった。今年度は業者に確認して、メーリングリストができるとよい。

- ・協力したいが、誰に連絡したらよいかわからないというケースもある。連絡先がわかると、連絡できる。
- ・内容がわかるメールの作成をし、登録された人のメールに送信できるとよい。
- ・管理する人がいて、以前そのようなしくみを行っていたことも聞いたことがある。
- ・登録しておく、所属することに負担になる人がいる。そのときできる内容に協力できるとよい。
- ・研究発表会で協力してもらうことがある。
- ・ソーランなどの卒会のネットワークを連絡の際活用している。徐々に輪は広がっている。
- ・相談しながら徐々に対象を広げられるとよいと思っている。

(6) 今後のスケジュール：副校長より（資料参照）

- ・第2回は、相談して8月に行う方向。第3回は、10月の学校公開日。当面は①で行う予定。地域学校協働本部事業の参加のあと、学校運営協議会を行う。

〈意見交換の続き〉

- ・学校運営協議会は、大きな方向性について意見を交換し合う。地域学校協働本部は、中身を具体的に決めていく機関と大まかに捉えている。
- ・さんさん算数は今年も人材募集を二人の方に行っていた。
- ・さんさん算数の割り振りもしてくださっている。パソコンに打ち込んで、保護者の学年希望で大体4人ぐらいで割り振っている。お便りは学校から、集計や割り振りは、地域学校協働本部で行っている。
- ・先生たちとざっくばらんに話し合える場を設けてほしい。連携をしやすいようにすれば、本部もやりがいがある。気軽に声が掛けられるようになるといい。保護者は、早めの情報があれば、声を掛けられる。
- ・お手紙を出すと、確実なものになるが連絡は遅くなる。大体の話があれば、連絡しやすいので、気楽に人材が必要な場合を教えてほしい。線引きはしていただきたいが、先生がウエルカムをしてくれれば、保護者も来やすい。